



2014 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 参 天 製 薬 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 黒川 明
(コード番号 4536 東証第 1 部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション・グループ マネージャー 日比 貴史
(TEL 06-4802-9360)

米メルク社の保有する眼科製品の譲受について 米メルク社と契約締結

参天製薬株式会社（本社：大阪市、以下参天製薬）は、2014 年 5 月 13 日開催の取締役会で、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.（本社：米国、ニュージャージー州ホワイトハウスステーション、米国とカナダ以外では MSD、以下米メルク社）との間で、日本・欧州・アジア太平洋地域において、米メルク社が有する眼科用医薬品（COSOPT, COSOPT PF, TRUSOPT, TRUSOPT PF, TIMOPTIC, TIMOPTIC PF, TIMOPTIC XE, SAFLUTAN, TAPTIQOM）（以下対象製品）およびこれらの製品に関連した権利等一式（以下対象資産）を参天製薬が取得することに関する譲渡契約締結について決議し、同日付で調印いたしましたので、お知らせいたします。これら対象製品の各地域における 2013 年度の年間売上高は約 400 百万米ドルです。

契約条件に基づき、参天製薬は取得金額として契約実行（クロージング）時に約 600 百万米ドルを支払い、さらに販売マイルストーンに基づいた追加支払いが発生する可能性があります。また、本契約に基づき、参天製薬は米メルク社から 2～5 年間にわたり対象眼科製品の供給を受けます。本契約に基づく対象資産の譲渡実行は、日本における独占禁止法や特定の市場・地域に関連したその他条件を含む、一定条件を満たす必要があります。なお、本契約に基づく対象資産の譲渡は、数カ月以内に実行される予定です。

本契約締結の理由

参天製薬は、2020 年に向けた長期的な経営戦略に基づき、“世界で存在感のあるスペシャリティ・カンパニー”の実現に向けて様々なチャレンジを進めています。本契約に基づく対象資産を取得する事で、緑内障・高眼圧症治療剤の製品ラインアップを充実させ、患者さんの医療ニーズへのさらなる貢献を目指します。日本国内市場では、新たな製品を取得する事で、緑内障事業の強化を目指します。また欧州・アジア地域では、現在参天製薬が事業を展開していない国・地域へのアクセスを獲得する事で海外事業展開の加速を目指すと共に、緑内障の製品を取得することで、事業基盤の強化が可能となると考えています。

対象資産について

参天製薬が、本契約に基づき取得する資産は、下記の対象製品に関する、日本・欧州・アジア太平洋地域における、特許、商標、ドメイン名、製造販売承認(治験承認・申請中を含む)、製造販売承認資料一式、販促資材一式等です。

対象製品名	(一般名表記)	効能・効果
COSOPT	(ドルゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障・高眼圧症治療剤
COSOPT PF	(ドルゾラミド塩酸塩/チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障・高眼圧症治療剤
TRUSOPT	(ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障・高眼圧症治療剤
TRUSOPT PF	(ドルゾラミド塩酸塩点眼液)	緑内障・高眼圧症治療剤
TIMOPTIC	(チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障・高眼圧症治療剤
TIMOPTIC PF	(チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障・高眼圧症治療剤
TIMOPTIC XE	(チモロールマレイン酸塩持続性点眼液)	緑内障・高眼圧症治療剤
SAFLUTAN	(タフルプロスト点眼液)	緑内障・高眼圧症治療剤
TAPTIQOM	(タフルプロスト/チモロールマレイン酸塩点眼液)	緑内障・高眼圧症治療剤

今後の業績への見通しについて

本契約に伴い、参天製薬の収益は増加する見込みであり、EPS（一株あたり純利益）は2015年3月期の下期より増加する見込みです。また、本契約による、参天製薬の2014年度業績予想および中期的な業績見通しへの財務的影響については、現在、財務的影響を確認中であり、別途開示する予定です。

本契約の相手先 Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.(米メルク社)について

米メルク社は、すこやかな世界の実現を目指して努力を続けるグローバルヘルスケアリーダーです。米メルク社は米国およびカナダ以外の地域ではMSDの名称で知られています。医療用医薬品、ワクチン、バイオ医薬品、コンシューマー製品およびアニマルヘルス製品の提供を通じてお客様と協力し、世界140カ国以上で事業を展開して革新的なヘルスケア・ソリューションを提供しています。また、さまざまな方針、プログラムおよびパートナーシップを通じて、医療へのアクセスを推進する活動に積極的に取り組んでいます。

相手先の名称：	Merck & Co., Inc.,
所在地：	Whitehouse Station, N.J., U.S.A.
代表者：	Kenneth C. Frazier, Chairman and Chief Executive Officer
事業内容：	医療用医薬品、ワクチン、バイオ医薬品、コンシューマー・ヘルスおよびアニマル・ヘルス製品の開発・製造・販売
資本金(Paid-in Capital)：	\$ 1,788 百万 (2013 年 12 月末現在)
設立年：	1851 年
純資産および総資産額：	純資産額 \$ 52,326 百万 (2013 年 12 月末現在) 総資産額 \$ 105,645 百万 (2013 年 12 月末現在)
当社と当該会社の関係：	参天製薬は、米メルク社との間で、タフルプロスト（緑内障・高眼圧治療剤）の独占的製造販売権に関する契約、また米メルク社の日本法人であるMSD株式会社との間で、チモロールマレイン酸塩（緑内障治療剤）の国内販売権およびドルゾラミド塩酸塩・チモロールマレイン酸塩（緑内障・高眼圧症治療剤）の国内独占的販売権に関する契約を締結しています。 この他、当社と当該会社の間には資本関係や役員または従業員の派遣等、特筆すべき関係はありません。
当該会社ホームページ：	www.merck.com

参天製薬（参天製薬株式会社、本社：大阪市）について

参天製薬は、眼科とリウマチ領域に特化したスペシャリティ・カンパニーとして、医薬品の研究、開発、販売・マーケティング活動を行っています。世界 12 か国に 15 拠点を構え、50 か国以上に製品を供給しており、国内の医療用眼科薬市場においては No.1 のシェアを有しています。今後も眼科領域におけるリーディング・カンパニーとして、未充足ニーズを満たす価値ある製品・サービスの提供を通じて、社会への貢献を果たしてまいります。詳細については、当社ホームページ www.santen.co.jp をご参照ください。

将来見通しに関する注意事項

このプレスリリースにおいて提供される情報は、いわゆる「見通し情報」（“Forward Looking Statements”）が含まれています。これらの見通しが実現できるかどうかはさまざまなリスクや不確実性によって左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。また、日本ならびにその他各国政府による医療制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態の影響を受ける可能性があります。

以上